

まちあるきガイドが解説

窪地が生んだ小平の名所



窪地によってできた高低差。この差のおかげで見える景色が変わり、美しい名所を作りました。こうした窪地と景色の関係を、まちあるきガイドと一緒にひも解いていきます。

窪地を現地で楽しもう

狭山・境緑道

多摩湖(狭山市)から境浄水場(武蔵野市)までの水道管を布設した道路を緑化したのが、狭山・境緑道です。水道管を通すために、地面が低い窪地に盛り土をして地面のかさ上げをしています。この緑道は、歩いていて土地の高低差がわかりやすく見えるため、窪地巡りにうってつけの道です。

この緑道からあじさい公園をきれいに眺めることができるのは、盛り土の高低差のおかげです



公園の池も、小川用水の水が使われています

窪地を囲むように作られた盛り土によってできた空間が、公園になりました。土地の高低差により公園全体がきれいに見え、用水路の流れとともに景色を楽しむことができます。

美しさの秘密は盛り土にあり

あじさい公園がある場所は、天神窪の西端。公園の中央が天然の窪地で、北に狭山・境緑道、南と西は小川用水に囲まれています。

公園いっぱい咲くあじさい。見学者でにぎわうあじさい公園は、小川用水が公園を囲むように流れ、美しい景色があります。この美しい景色は、地形が大きく影響しています。美しいあじさい公園の景色を作った小川用水と窪地の関係に迫ります。

あじさい公園の景色の秘密



湧き出る小川用水

あじさい公園南東側、回田道に面した地点に、小川用水の水が地下から湧いている場所があります。



解説します

こだいら観光まちづくり協会
まちめぐり担当 石川純さん
学生時代は地理学を専攻し、中学校の社会科教諭を経てまちあるきガイドをしている。地域資源発掘のため、市内の文化財や地域資源を調べ、わかりやすく伝える活動をしている。

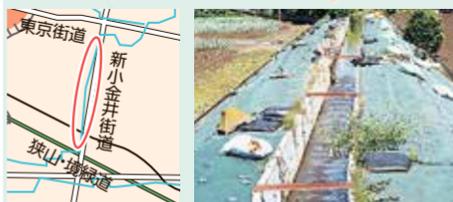
馬の背

小平市と西東京市の境をまたぎ、石神井川の上を通る道。この石神井川の谷の先端部分に鈴木遺跡があります。



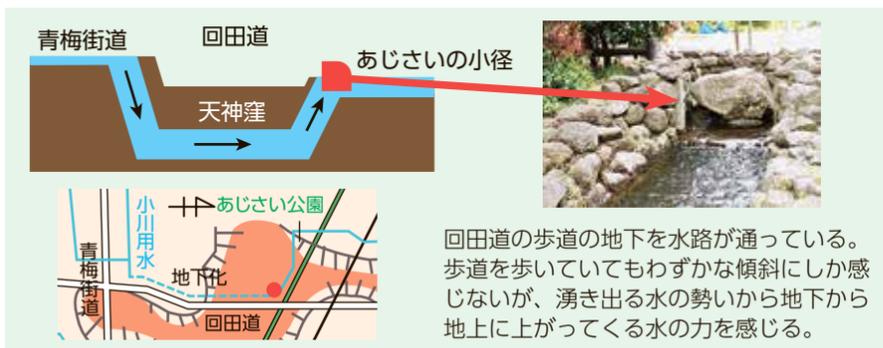
新小金井街道沿い 大沼田用水の築樋

窪地を通るために盛り土をして用水路を通しています。回田道の小川用水のかつての姿が想像できます。



昔の小川用水と回田道

回田道の拡幅工事によって地下化された小川用水。工事以前は、窪地を通る用水路部分を盛り土して、水を通していました。これを築樋といい、あじさい公園南側の水路が周りの土地より高い場所にあるのは、この築樋の名残りです。



回田道の歩道の地下を水路が通っている。歩道を歩いていてもわずかな傾斜にしか感じないが、湧き出る水の勢いから地下から地上に上がってくる水の力を感じる。

まち歩きを楽しく

こだいら観光まちづくり協会

こだいら観光まちづくり協会には、情報冊子の小平にこないかや、ガーデンマップなど、まちあるきを楽しむ情報がたくさんあります。散策ついでに立ち寄ってみませんか。

ところ 学園東町1-17-9

HP検索 ふらっとたび こだいらにこないか

問合せ 観光まちづくり協会 ☎042(312)3954、

✉info@kodaira-tourism.com



こだいらまち巡りガイド

まちあるきガイドが解説をしながら歩きます。ふだん歩いている道を、歴史や地理など違った視点で学びませんか。

◆玉川上水・野火止用水に沿って

市内西部の小川地区の玉川上水、小川寺、神明宮、野火止用水など、歴史や自然を楽しみながら約5キロを歩きます。

とき 5月18日(土) 荒天中止

集合 午前9時30分 西武線・多摩モノレール玉川上水駅改札

※解散は午後1時ごろ、西武線東大和市駅。

費用 500円

◆緑深い狭山・境緑道と糧うどん

萩山駅から緑道に沿ってあじさい公園、花街道花壇など花、樹木を楽しみ、小平ふるさと村では糧うどんを味わい約4キロを歩きます。

とき 6月15日(土) 荒天中止



集合 午前9時30分 西武線萩山駅改札口

※解散は午後1時ごろ、西武線花小金井駅

費用 1,000円(うどん代含む)

ー共通ー

定員 各15人

申込み 電話または電子メールで希望コース、住所、氏名、電話番号をこだいら観光まちづくり協会へ(先着順)